

全国の児童相談所が2022年度に対応した18歳未満の子どもへの虐待件数は、21万9170件（速報値）だったことが、こども家庭庁の集計でわかりました。2021年度に比べて1万1510件増え、32年連続で過去最多を更新しています。

## 児童虐待、32年連続最多更新

類型別では、子どもの前で親が家族に暴力をふるう面前DVなど「心理的虐待」が59・1%で最も多く、「身体的虐待」23・6%、「ネグレクト（育児放棄）」

16・2%、「性的虐待」1・1%でした。また、2021年度に虐待で死亡した子どもは74人で、0歳児が最多の24人でした。

こども家庭庁は、毎年11月にオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンを実施し、家庭や学校、地域等の社会全般に、児童虐待への関心と理解を得られるよう、啓発活動などの取り組みを集中的に実施しています。

防犯一口メモ